

# イデックスオイルレポート ~For a week~

2021/11/12作成 (株)新出光

## 【概況】<上げ下げが交錯する展開>

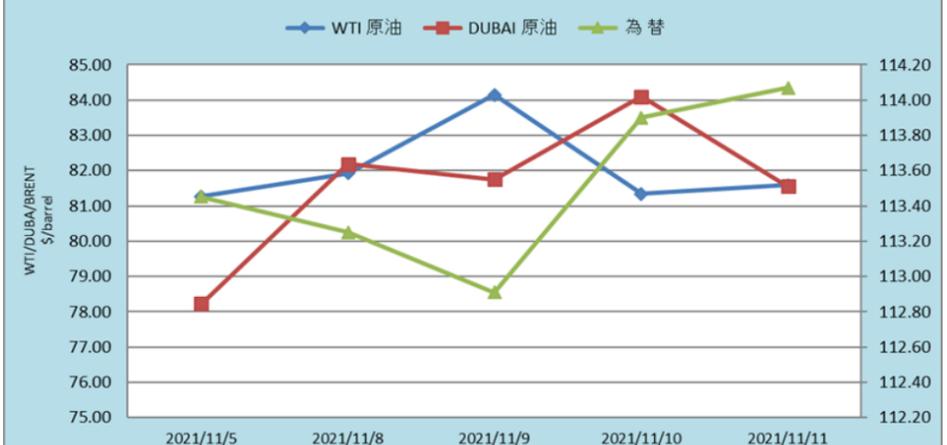
- 5日、OPECプラスは4日の閣僚級会合で、追加増産を見送ったことで世界的にエネルギー需要が回復する中で、需給引き締め観測から原油が買われました。また、米労働省が5日に公表した10月の雇用統計では、景気動向を反映する非農業部門就業者数前月比53万1000人増と、市場予想の45万人増を上回ったことも上昇する材料となったようです。
- 8日、バイデン米大統領の政策の柱となる約1兆ドル規模のインフラ投資法案が可決されました。また、米政府がワクチン接種済み条件に外国人観光客の入国制限を撤廃し、各国でも同様の規制緩和が進行していけば、ジェット燃料需要が世界的に高まるとの観測も相場の下支えとなったようです。
- 9日、世界的な需要の高まりへの期待に加え、米エネルギー情報局(EIA)が発表した短期エネルギー見通し(STEO)で、2021、22年のガソリン価格を前月から上方修正したことも買い材料となったようです。
- 10日、EIAによると、5日までの1週間に米原油在庫は100万バレル増加し、積み増し幅は市場予想の210万バレル増を下回ったものの、前日の米石油協会(API)週報は250万バレルの在庫減を示していたことなどから原油相場上昇にはつながらず、むしろ下落しました。その他石油製品としては、ガソリンが160万バレル減(市場予想は120万バレル減)、ディステレート(留出油)が260万バレル減(同110万バレル減)と、そろって予想を上回る取り崩しでした。
- 11日、米労働省が前日発表した10月の消費者物価指数(CPI)の上昇率は前年同月比6.2%と、約31年ぶりの高水準となりました。バイデン米政権が物価高の主因になっているエネルギーコストの抑制措置として、戦略石油備蓄(SPR)の追加放出に踏み切るとの観測が原油相場を圧迫し、一時WTI原油で80.20ドルまで売り進められました。

11月12日 17:00現在 WTI原油 81.02ドル 為替 1ドル 114.05円

国内石油製品在庫 11月06日時点 単位万KL



ドル/bbl WTI・DUBAI / 為替 関連グラフ 単位 円



## 次回元売変動予測

11/18～ 元売変動予測

ガソリン	→	±0～+0.5
灯油	→	±0～+0.5
軽油	→	±0～+0.5
A重油	→	±0～+0.5
LSA	→	±0～+0.5

## 【製品卸価格】<市況膠着も、東北で灯油の市況悪化>

【今週】今週の元売り仕切り改定は三社ともに「-0.5円」の値下げでした。小幅に価格を調整するディーラーがいるなか、大方の予測が-1.0～-1.5円の値下げと見ていたこともあり、先行して値下げを進めていたディーラーの中には値上げして、オーダーを牽制する動きも広がりました。特に月間リンクの玉の値上げが目立ちました。

【11月13日以降】次回の元売り改定は、現状の原油コストで「±0～+0.5円」の小幅変動予測です。原油相場も上げと下げを繰り返し、ほぼ同じレンジ内での推移が見られます。次回も大きな改定とはならないようで、月間リンクの玉を扱うディーラーはこれ以上の下げに応じる余力はそれほどないものとみられ、週決めでの販売が強まっている様子が窺えます。週末の市況は昨日と比較し、同じく小幅に値下げ対応して販売を進めています。11月中旬に差し掛かり、灯油は需要期であるにも関わらず、気温もそれほど下がっていないことから、東北や北陸での市況の悪化が顕著となっています。11月末から12月にかけて気温が下がってくる予報となっていますので、これから需要が本格化してくるものと思われます。

※現段階の原油コストによる予想です。

## 【次世代エネルギー】<アンモニア燃料船の開発進む>

(株)商船三井は、(株)名村造船所および三菱造船(株)とアンモニアを燃料として航行する大型のアンモニア輸送船を共同開発することで合意しました。就航は2026年を目指しています。昨年1月に国土交通省や海事関係団体で発足した国際海運GHGゼロエミッション・プロジェクトのなかで、船舶燃料の燃料転換が想定されています。国内でもすでにLNG燃料船が運航しており、重油を燃料とした場合に比べ、運航時のCO2排出量は約25%削減できます。しかし、アンモニアは燃焼時にCO2を排出しないことから、重油やLNGに変わる次世代燃料として注目され、船舶燃料や火力発電所の需要拡大も見込まれています。他社でも三井物産は2023年末をめどに、アンモニア燃料への切り替えが可能な世界初のアンモニア運搬船の導入、丸紅もアンモニアを船舶燃料とするアンモニア輸送船を検討しているようです。

[出典]

- ① <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC2194F0R21C21A000000/>
- ② <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC0420J0U1A101C2000000/>
- ③ <https://www.e-logit.com/loginews/2021:110412.php>